

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		09 04 13	中期総合計画主要施策番号		2-03		担当課	部・課	農政部園芸畜産課		
事業名		信州こだわり食肉生産推進事業				内線		3175			
						E-mail		enchiku@pref.nagano.jp			
事業の概要等	事業の目的	信州産食肉のブランド化を推進するため、高い飼養技術の継承と普及を推進するとともに、こだわりのある信州産食肉の生産・供給体制を構築する。									
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・高い飼養技術で高品質な肉畜を生産している農家が限られている。 ・消費者ニーズに呼応した高品質な食肉の生産基盤が確立されていない。 ・ブランド食材(信州黄金シャモ)の需要に応じる生産体制がない。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・畜産農家の減少等により農家が点在化し、農家間の技術継承が進んでいない。 ・優良な遺伝資源の導入が進んでいない。 ・信州黄金シャモの生産と流通のバランスがとれていない。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・農家間の技術継承の促進と普及を図る必要がある。 ・県指定の能力、血統を有した繁殖雌牛の導入と指定交配を図る必要がある。 ・信州黄金シャモの需給バランスのとれた生産拡大とブランド強化を図るためのネットワーク形成を図る必要がある。									
		事業内容	・こだわりのある食肉づくりの名匠(信州食肉マイスター)の認定と技術研修会の開催 ・優良繁殖和牛導入経費の補助(補助率:【県:1/2以下(定額)】) ・液状精液供給用種豚の作出 ・信州黄金シャモのひなの供給と、需給調整とブランド強化のための「ブランドアップネット」の開催								
		実施期間	H18 ~	根拠法令等	長野県食と農業農村振興計画、優良繁殖和牛導入事業実施要領、信州黄金シャモ生産振興要領						
	成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価			
	・高い飼養技術の普及を図る。	・信州食肉マイスターを10名程度認定すること。			・信州食肉マイスターを6名認定した。		a.期待以上				
	・高品質牛肉・豚肉の生産拡大を図る。	・高能力繁殖雌牛を45頭導入すること。 種雄豚5頭を作出すること。			・高能力繁殖和牛を45頭導入した。 種雄豚を3頭作出した。		b.期待どおり				
	・信州黄金シャモを年間5万羽供給する(平成24年度目標)。	・信州黄金シャモ:素ひなを30,000羽供給すること。(平成20年度計画)			・信州黄金シャモのひなを30,280羽供給した。		c.やや下回る d.期待以下				
事業コスト	区 分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要					
	最終予算額 (A)	千円	31,644	22,940	19,216	国庫・県単	国庫・県単				
	決 算 額 (B)	千円	30,863	22,415		実施方法	直接、補助				
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	13,823	10,369	9,255	歳出節別内訳等	・需用費:13,250 ・備品購入費:1,108 ・補助金:6,750				
	概 算 人件費	人	3.30	3.30	3.30	(単位:千円)					
事業実績	概算事業費 (B(H21はA)+C)	千円	54,425	46,007	42,808						
	内 容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績					
	信州食肉マイスター	人	11	6	10	・パークシャー種、中ヨークシャー種の液状精液供給用種豚の作出 3頭					
	繁殖和牛導入	頭	45	45	45						
信州黄金シャモひな配布	羽	20,125	30,280	35,000							
事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明									
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・消費者の国産、県内産、良食味の食肉への志向が高く、こだわりのある食肉生産のための技術習得・伝承への要望は増加している。 ・消費者の認知度をさらに高める必要がある。					
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり							
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり							
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり							
課題の総括	・信州食肉マイスターによる講師依頼や事例発表など活躍の場ができてつある。 ・牛肉及び豚肉については、優良遺伝子の導入や技術向上などにより効果が上がっているが、消費者、実需者等に対するPR・周知が不足しているため、さらなる普及推進が重要である。 ・信州黄金シャモについては、生産量、取扱店などが年々増加傾向にあり、ブランド化に向かいつつある。										